

ベトナムにおける繊維業の見通し

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL To Ngoc Anh)

1. 初めに

繊維業はベトナムの主要産業の一つである。ベトナムの輸出額に占める割合も大きく、技術革新、人材育成にも力を入れている産業である。更に、政府からの繊維業に対する優遇政策もあり、外国投資家にとって魅力的な要素も備えている。しかし、多くの課題にも直面している。本レポートでは繊維業の利点、課題、および成長性について言及する。

2. ベトナムにおける繊維業の状況

2.1. ベトナム繊維業の概況

2014年 から 2015年 にかけて、環太平洋経済連携協定（以下、TPP）のメリットを享受するため、外資系企業はベトナム繊維業へ多額の投資を行った。計画投資省によると、2015年には繊維業¹への直接投資額は20億USDに上ったものの、2016年から外資系企業からの投資の波が鈍化している。また、2016年は、輸出額は28.3億USDと前年比4.6%と増加したものの、計画²比に対しては92%にとどまった。著しい成長を続けてきた繊維業界において、この輸出額の増加率は過去10年で最低であった。

しかし、ベトナム統計総局の2017年第1四半期のベトナムの経済情勢評価報告によると、直近のベトナムの繊維業には好ましい傾向がみられる。具体的には、製造業全体における国内総生産（GDP）が前年同期比3.9%増と2011年以来最低の増加率となった一方で、繊維業は著しい増加を遂げ、前年同期比で11.4%増となった。2017年1-2月は数量ベースで前年同期比13.9%増である。ただし、この傾向は安定的なものではないと予想され、ベトナムの繊維業は依然として多くの課題に直面していると考えられている。

2.2. ベトナム繊維業の強みと課題

● 強み

ベトナム繊維業の成長は企業のみではなく、ベトナムの国自体の情勢や、政府の経済政策も大きく関わっている。具体的には次の通りである。

¹ 計画投資省：海外投資局の統計

² 商工省：2016年のベトナムの輸出入報告

1. 低い生産コストと安定した政治情勢が投資家にとっての魅力となっている。2017年4月時点で、ベトナムの15歳以上の人口は5,450万人³であり、労働力人口も大きく、更に技術力がある人材が豊富で、他国と比べ比較的 low賃金での雇用が可能である。また、土地・水道・電気のようなインフラ費用も比較的安価である。
2. 関税に関する優遇条件も魅力の一つである。ベトナム繊維業の主要な輸出先であるEU諸国の他、韓国、日本との自由貿易協定（FTA）締結に向けた動きが活発化している。ベトナムはTPPへの参加で、参加国に対する関税障壁を取り除くことを目指しており、実現すれば外国からの投資を促進する効果がある。
3. 外資企業の投資傾向に関して、投資家は繊維輸出をリードする中国やバングラデシュの代替国として、ベトナムやインドネシアへの投資⁴を始めると言われている。これらの動向から、ベトナム繊維産業の成長への期待は依然として高いと考えられる。

● 課題

同時に、ベトナム繊維業は下記に挙げる通り、多くの課題に直面している。

1. 繊維業の主要な輸出先である米国、EU諸国の大きな政治情勢の変化によって、繊維製品に対する需要は縮小傾向にある。英国のEU離脱、米国のTPP離脱表明等の動きによって、ベトナム、中国、バングラデシュ及びインドネシア等の繊維業に大きな影響が予想される。
2. 中国、バングラデシュ等との競争により、激しい競争が続くと予想され、上記のように関税あるいは労働力に対する競争優位があるものの、例えば競合国政府が繊維業をはじめとする自国の産業成長のため、通貨切り下げなどを行えばベトナムにとっては不利な状況となる。
3. 2017年において、ベトナム繊維業はEU・ベトナム自由貿易協定（以下、EVFTA）及びTPPの適用をまだ受けられていない状況である。EVFTAは2018年初めに発効予定であり、一方のTPPは米国の離脱表明によって今後が不透明な状況である。TPPに対する不透明感により、ベトナムへの投資促進の流れが失速する可能性は大きい。

2.3. ベトナム繊維業の成長力

上記の課題がみられるものの、ベトナム繊維業は2017年の成長率目標を6.5-7%、金額ベースで300億USD相当としている。この目標はベトナム繊維業の状況が好転するとの見通しに基づき立て

³ 統計総局：2017年第一四半期の経済情勢評価報告

⁴ Tapchitaichinh ニュース：ベトナムと世界の繊維：競争能力からの視点（2014年9月）

られたものである。その根拠としては、まず EVFTA の法的手続きが完了後、2018 年初めに発効予定であることが挙げられる。EVFTA 発効後は、ベトナム繊維業は一般特惠関税制度（GSP⁵）の参加国であるカンボジア、バングラデシュ等のように、関税について特惠待遇が受けられることになる。加えて、米国経済の好調により世界経済の成長が加速傾向にあるため、需要が増える可能性がある。TPP の発効に関しては、米国抜きの発効を目指し、交渉段階である。

ベトナムは TPP の発効に向け、税関総局、商工省、財務省をはじめとする行政手続業務の改善等により、ベトナムへの投資を誘致するための環境整備を進めている。企業もより一層の技術改善、人材の質の向上、製品製造促進の取り組みを進めている。

3. 結論

ベトナム繊維業は多くの課題に直面しているものの、引き続き成長可能性は高いと考えられる。今後、ベトナムは国をあげて自由貿易協定、政府の優遇政策及び労働生産性の改善に取り組み、ベトナム繊維業の競争優位を強めるための努力を継続していく見通しである。

4. 参考資料

- 4.1. 統計総局：2017 年第 1 四半期の経済・社会情勢報告
- 4.2. Tapchitaichinh ニュース：ベトナムと世界の繊維：競争能力からの視点（2014 年 9 月）
- 4.3. 商工省：2016 年の輸出入報告
- 4.4. Baomoi ニュース：ベトナムの繊維業は色々な困難に直面している（2017 年 2 月 16 日）
<http://www.baomoi.com/det-may-van-doi-dien-nhieu-kho-khan/c/21553015.epi>
- 4.5. Baomoi ニュース：ベトナム繊維業：予想された課題（2017 年 2 月 27 日）
<http://www.baomoi.com/det-may-viet-nam-nhung-kho-khan-da-duoc-du-bao-truoc/c/21636183.epi>
- 4.6. ホーチミン市の輸出加工区：税関優遇について
<http://www.hepza.hochiminhcity.gov.vn/web/guest/84>
- 4.7. Baodauthau ニュース：繊維製品の品質向上：資金、優待政策が必要（2016 年 3 月 2 日）
<http://baodauthau.vn/dau-tu/gia-tang-gia-tri-det-may-can-von-chinh-sach-uu-dai-18954.html>
- 4.8. Baodauthau ニュース：TPP 参加後のベトナム繊維業：協力と主動（2016 年 2 月 29 日）
<http://baodauthau.vn/dau-tu/det-may-vao-tpp-hop-tac-va-chu-dong-18818.html>

⁵ Generalized System of Preferences - 関税に関する国際的な制度の一つである。先進国が開発途上国から輸入を行う際に関税率を引き下げるもので、開発途上国の支援を目的としている。

- 4.9. Baodauthau ニュース：FDI の支援からの繊維生産用の大量の原料（2017 年 1 月 31 日）
<http://baodauthau.vn/dau-tu/det-may-them-nguon-cung-lon-nguyen-phu-lieu-tu-du-an-fdi-17521.html>
- 4.10. Baodauthau ニュース：FTA からのチャンス：FDI が勝ち組（2017 年 2 月 17 日）
<http://baodauthau.vn/dau-tu/det-may-don-co-hoi-tu-cac-fta-khoi-fdi-chiem-the-thuong-phong-18165.html>
- 4.11. DoanhnhanSaigon ニュース：繊維業への投資に魅力（2016 年 10 月 30 日）
<http://www.doanhnhansaigon.vn/chuyen-lam-an/det-may-van-hap-dan-nha-dau-tu/1100143/>